昭和館特別企画展

時代をまとう女性たち

入場無料

2023年
3/11(土)
▼
5/7(日)

会　場
昭和館3階　特別企画展会場

開館時間
10時～13時30分（入館は13時まで）
14時～17時30分（入館は17時まで）

休館日
月曜日（5月1日は開館）

後　援
千代田区
千代田区教育委員会

ワンピース・ドレス
昭和30年（1955）
デザイン：杉野芳子
学校法人杉野学園ドレスメーカー学院蔵

和服を更生したもんぺ
戦中

昭和館
https://www.showakan.go.jp

https://twitter.com/showakankudan　https://www.facebook.com/showakankudan/
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1　TEL 03-3222-2577　FAX 03-3222-2575

昭和館特別企画展

時代をまとう女性たち

銀座通りを歩くワンピースの女性と和服の女性
昭和10年（1935）
撮影：師岡宏次

ごあいさつ

「ファッションは時代を映す鏡」という表現があるように、服装は時代の移り変わりと密接な関係にあります。昭和の激しい社会変化も例外なく、和装から洋装へ、家庭裁縫から既製服へ、特に女性の服装に大きな影響を与えました。

日中戦争が始まると、政府による国民精神総動員運動と物資不足が原因で服装も統制の対象となりました。終戦後も深刻な物資不足が続き、女性たちはおしゃれを楽しむ余裕はありませんでした。しかし、戦後、占領期にもたらされた新たな文化や女性の地位向上、経済統制が解除されるにしたがって、女性たちは次第に機能的な服装を選ぶようになり、昭和30年頃を境に、都市部では和装と洋装の着用率が逆転します。

本企画展では、昭和の世相とともに移り変わっていった女性の服装について紹介します。

図書館でファッション雑誌に見入る女性たち
昭和24年（1949）
米国国立公文書館提供

展示構成

プロローグ：洋装文化の受容
Ⅰ．戦時下の女性と服装
Ⅱ．洋装文化の流入
Ⅲ．大衆化の時代へ

イベント情報

ワークショップ

巾着を作ろう！

期日　3月26日（日）
時間　14時～17時
場所　3階会議室
定員　50名

着せ替え紙人形を作ろう！

期日　4月29日（土）
時間　14時～17時
場所　3階会議室

展示解説

期日　4月2日（日）、4月23日（日）
時間　14時30分～（所要時間 約30分）
場所　3階特別企画展会場

昭和館
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1

7・6階には常設展示室（高校生以上有料）があります。

電車をご利用の場合

地下鉄九段下駅から徒歩1分（東西線・半蔵門線・都営新宿線 出口4）
JR飯田橋駅から徒歩約10分

車をご利用の場合

首都高速西神田ランプから約1分（九段下交差点）
有料駐車場（30分200円・普通乗用車のみ）

お問い合わせ先：昭和館学芸部 TEL 03-3222-2577